

Ferdinando Frega – Nando the Scribe

THE RHYTHM



Gillettenarrative.com

Gilletteのリズム

「誰にも予見できなかったリズム」

13歳で音楽を学んでいた頃の思い出のひとつに、いまはもっと良い世界へ旅立ったロモロ先生が、いつも私に言っていた言葉がある。「楽典なんかクソくらえ—音楽は魂のただ一つの真の表現だ」

つまり、認知だの感情だのといった段階のなかで考えをめぐらせることではなかった。ただ、内なる深い思いを感じる。まるで別もので、何よりも、深く個人的な思いを。

やがて年月が過ぎ、自分のテンポのなかに変化があることに気づいた。奇妙に感じたのはリズムだった—二度と同じではなく、いつも違う—望んでではなく、必要に迫られて生きたリズム。

走るのをやめたのは、そのときだ。だが夜、若いソーシャルネットワークに足を踏み入れるたび、成功と富のさなかで、ほとんど誰にも気づかれずにもっと良い世界へ旅立った人たちを並べた動画に行き当たった—そこに私は、誰にも予見できなかったリズムを見つけた。

そのとき悟った。ものごとをなすための時間が自分にあとどれだけ残っているのか、私は知らない。そして終わりなどないのだと気づいた。一日一日が、新しい始まりなのだから。

私のGilletteNarrative.comは、まさにこれだ—時計では計れない、あのリズム。誰もが沈黙のうちに受け取ることになる効果を知っているのは、そのリズムだけだからだ。母なるGilletteがいつも私たちに教えてくれたとおりに。

皆さん、お一人おひとりに、はじめまして—これが私だ。いまも皆さんとともにあり、そしていつまでも書かれたもののなかにいる。忘れえぬ時間のように。

ナンド